

# 特集 21年度改定「褥瘡マネジメント加算」 介護施設での褥瘡改善本格化へ

「褥瘡マネジメント加算」にアウトカム評定の類型が追加された。褥瘡は自立支援・重度化防止を阻害し、褥瘡管理が家族の負担となることから在宅復帰を困難にする。同加算では多職種連携で褥瘡改善に取り組むことを求める。算定のポイント解説と、褥瘡治療の第一人者の美濃良夫氏の寄稿「介護施設での実践」を特集する。

褥瘡マネジメント加算（介護医療院は「褥瘡対策指導管理」）は18年度改定で新設された。介護施設での褥瘡対策のPDCAサイクルに関して評価する。

21年度改定では、算定頻度の制限がなくなり（介護医療院除く）、褥瘡の発生予防（アウトカム）を新たな区分として評価するなど、「良くする（悪化させない）」を高く評価する流れが鮮明になった。

**プロセス重視とアウトカム重視で2区分に**

褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）（3単位/月）は▽入所者ごとに褥瘡の発生と関連のあるリスクを施設入所時等に評価▽少なくとも3月に1回評価し、評価結果等を厚生労働省に提出▽褥瘡発生リスクのある入所者等ごとに、医師、看護師、管理栄養士、介護職員、ケアマネジャーその他の職種が共同して、褥瘡管理に関する褥瘡ケア計画を作成・実施▽管理の内容や入所者等ごとの状態について定期的記録▽少なくとも3月に1回、入所者等ごとに褥瘡ケア計画を見直すなどが要件。

同加算（Ⅱ）（13単位/月）は、「同加算（Ⅰ）」の算定要件を満たす施設等で、施設入所時等の評価で褥瘡が発生するリスクがあるとされた入所者等であっても、褥瘡の発生のないことが要件で、「褥瘡発生を予防している」というアウトカムを高く評価する。

**「栄養マネジメント強化加算」と併算可に**

褥瘡改善と栄養の関連は大きいとされることから褥瘡マネジメント加算（褥瘡対策指導管理）の算定要件に、管理栄養士が関与することが新たに明記された。

さらに、低栄養の人を丁寧

に把握し状態改善を評価する

「栄養マネジメント強化加算」の併算が可能となった。

ここからも国の「栄養改善との相乗効果でアウトカムを狙う」という明確なメッセージを読み取ることができる。

**省力・最大効果のための褥瘡予防用具活用**

医療機関と異なり、介護施設では治療ができない。ベストプラクティスとされる「2〜3時間ごとの体位変換等」を人海戦術するのは現場の大変な負担となる。

こうした中で「マイコン制御による自動体位変換機能付きエアマット」「自動体位変換機能付き介護ベッド」など、介助者の負担軽減と、本人のQOL向上や自立支援を両立できる機器の開発も盛んになっており、活用が期待される状況となっている。

## 商品のご紹介

### イノアックリビングー「ふわ・も」



価格:8,000円～（税抜）  
☎050-3135-8857

高密度のウレタンを4mm角に特殊加工した「ミクセルキューブ」を使用した体位変換器。ふわふわ、もっちりとした感触が特徴。ウレタンが内部で自由自在に動き、体を隙間なく支え、通気性にも優れる。カバーは洗濯可能。体位変換に便利な持ち手が左右についており、持ち運ぶのも簡単に行える。



### 笑顔と笑顔でよりそうこころ

国内最大のウレタンフォームメーカー「イノアック」グループより、「笑顔と笑顔でよりそう福祉用具」をお届けします。

日本製



### 「ふわ・も」

体位変換保持に便利なソフト感触のポジショニングクッション

**mixel CUBE®**

ふわふわもっちりした感触のウレタン素材、ミクセルキューブが入っています。

